

12/4 区長会が工事現場を視察 国土交通省工事現場視察

南阿蘇村区長会(会長 野田敏信 第九駐在区長)37人が、立野ダム建設現場と阿蘇大橋建設現場を視察しました。

立野ダム建設現場では、9月に旧立野小学校内に開設した「あそ立野ダム広報室」を訪問し、国土交通省九州地方整備局立野ダム工事事務所の安田副所長より立野ダムの役割やダムを活用した地域振興への活用などの詳しい話を聞いた後、工事ヤード内の「たてのテラス」に移り、工事課 染谷建設監察官より工事の進捗状況や工法について説明を受けました。

阿蘇大橋建設現場(栃木側)では、国土交通省九州地方整備局熊本復興事務所の江口副所長より大規模崩落のり面復旧工事の進捗状況、今村副所長より阿蘇大橋建設工事の進捗状況の報告がありました。

最後に野田区長会長が、「24時間体制で工事を行っておられるので、現場の皆さんは体調管理に十分注意され、安全な工事体制で、立派なダムと橋の完成をお願いします」とお礼を述べられました。

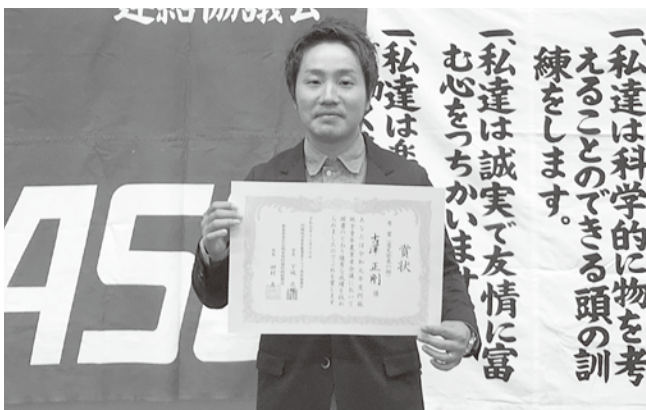


工事の進捗状況についての詳しい説明



実際に工事現場を視察

12/17 青年農業者の成果発表 阿蘇地方青年農業者会議



秀賞を受けた古澤正剛さん(第八駐在)

阿蘇地方青年農業者クラブ員が日頃のクラブ活動やプロジェクト活動の成果を発表する阿蘇地方青年農業者会議が阿蘇地域振興局で開催されました。

「意見発表部門」では、古澤正剛さん(第八駐在)が就農して感じたことをテーマに自身が就農したきっかけや体験談、これからの展望などを発表し、秀賞を受賞されました。古澤さんは1月28日に開催される熊本県農業者会議においても、阿蘇地域の代表として意見発表を行いました。

12/13 空からの視点で新たな観光を 5Gドローンの観光活用実証試験



VRゴーグルでドローンから見た景色を体感

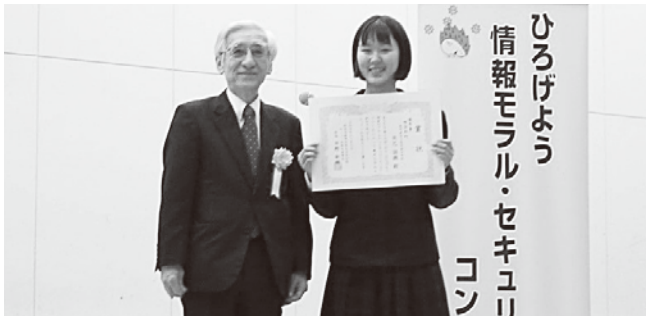
KDDI株式会社、東海大学、株式会社エア・カメラ、村が、「道の駅あそ望の郷くぎの」にて、ドローン視点で自由に飛行体験できる新たな観光サービスの実証試験を行いました。

この試験は総務省の5G(※)総合実証試験の一環。2機の5Gドローンに搭載されたカメラの映像をVRゴーグルでリアルタイムに見ることができました。事前に撮影した映像に切り替えて震災遺構や牧野など普段観光客が立ち入れない場所の紹介も可能です。

今後、新たな観光案内のアイテム・ビジネスモデルとして、地域の発展に繋がることが期待されます。

※5G …超高速、超低遅延、多数同時接続といった特長を持つ次世代の移动通信システム

12/23 優秀賞・文部科学大臣賞を受賞 第15回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」(南阿蘇中学校)



富田達夫IPA理事長(左)と賞を受けた辰巳詩織さん(右)

IPA(独立行政法人情報処理推進機構 以下「IPA」)主催の第15回IPA「ひろげよう情報モラル・セキュリティコンクール」において南阿蘇中学校の取組が優秀な成績を収め、同校第一体育館で行われた授賞式で富田達夫IPA理事長より表彰状が授与されました。

標語部門で同校3年の辰巳詩織さん(両併一)が熊本県警察本部の優秀賞を受賞。活動部門では生徒会執行部を中心にスマートフォンなどの電子機器利用について全校生徒でルールを策定し守る取組が文部科学大臣賞に選ばれ、広報放送委員長の林田くる実さん(第八駐在)が代表で表彰状を受け取りました。



全校での取組の中心となっている生徒会執行部

南阿蘇中 守ルール ～情報機器編～

- 健康・生活面
 - ・電子機器は夜10時から朝6時まで使わない
 - ・電子機器は明るい所で使い、休憩を2時間おきにとる
- 安全・モラル面
 - ・個人情報のはせない! 教えない! 書き込まない!
 - ・面と向かって言えないことは、ネットでも言わない
- 学習面
 - ・勉強とそれ以外の自由時間を区別する
 - ・スマホ平均2時間以内(テスト前は1時間)

1/8 農業用水を利用し発電 小水力発電事業に関する協定書調印式・起工式



協定書を手にする光永政敏理事長(久木野土地改良区、左から3番目)と穴井憲良副社長(南阿蘇水力発電株式会社、同2番目)

久木野村土地改良区(光永政敏理事長)の農業用水路を利用した小水力発電事業に関する協定書調印式が、役場庁議室で行われました。

この事業は久木野地区の農業用水を活用して発電を行うもので、南阿蘇水力発電株式会社(前田和幸代表取締役)が実施。事業実施にあたり久木野村土地改良区と同社が協定書を交わし、特定非営利法人くまもと温暖化対策センターと村が立会人を務めました。

発電規模は198kWで、令和3年4月から発電開始予定。発電した電力は20年間にわたり売電される計画です。

12/31 名産のそばで感謝とお見舞い 南相馬市で年越しそばの振る舞いを実施



温かいそばのふるまいに多くの人が立ち寄りました

令和元年の大みそか、福島県南相馬市において、(一社)みなみあそ観光局が主催し有志7人による年越しそばの振る舞いが行われました。

これまでの村への震災復興支援への感謝と、台風19号の被害へのお見舞いとして、当日は名産の南阿蘇そば500食を準備。会場となった同市の三嶋神社では、年越しの参拝に訪れた多くの人にそばが振る舞われました。

また、同行した荒牧議長から南相馬市長へ村で募った義援金が手渡されました。